

これからの社会と働くことを考える

古賀伸明

I 問われている日本社会の持続可能性

1. 経済・社会の成熟化
2. 超少子高齢・人口減少社会

II 働き方や職場の変化

1. 個人の働き方の変化
2. 職場の構成員の多様化
3. 産業の高度化やグローバル化の更なる進展

III “働くこと”を考える

1. 働き方改革を改めて考える
 - ①諸外国の労働時間と生産性
 - ②多様化した働く者の環境整備
 - ③過労死・過労自殺の異常な実態
 - ④男性・正社員・長時間労働の働き方基準の改革
 - ⑤持続可能な社会への役割と責任
2. 働き方改革の推進
 - ①働き方改革は経営・マネジメント・業務改革
 - ②量だけでなく質を問い直す
 - ③生産性と仕事満足度
 - ④実効性の担保
3. 技術革新への対応
 - ①人が技術をどう使うか
 - ②人が生きる仕組み
 - ③多様な雇用形態への対応
 - ④「働くことに心を込める」「チームワーク」